



家族と過ごすこと、その当たり前に思えることが叶わない。拉致の被害により、引き裂かれたご家族の厳しい現状はまだ続いています。多くの拉致被害者の方々は、いまだ帰国が叶わず、そのご家族は帰りを待ち続けています。何が起き、被害者のご家族が何を思い、訴え続けているのか、同じ社会で起きた出来事として、日本人が知っておくべき現実です。



「めくみちゃん、今日も元気になっていますか?」と語りかける横田めくみさんの母・早紀江さんの言葉が、34年間歳を待ち続ける母の優しさや解決しない現実への厳しさを感じました。ある日突然、家族がいなくなってしまうたら。しかもそれがどこか遠くへ連れ去られて声を聞くことも姿を見ることが叶わなくなってしまうたら。日本で起きたまだ解決していない実際の出来事として、本当に強く意識しておくべき問題だと思いました。



見終わって、目頭が熱くなった。拉致問題を風化させてはならない、という拉致被害者家族の真摯な思いが込められている。特に横田早紀江さんの心からの叫びに胸が一杯になった。私たちに出来ること。最初の一步は、この問題を「忘れない」事ではないだろうか。



アニメ『めくみ』の時は、当店でも多くの方に関心を持って頂きました。しかし、正直、普段の生活の中では、拉致問題のような事件に想いをめぐらせる瞬間ってなかなかありません。自戒という意味で、「拉致〜」のこのDVDを観て、この問題は風化させてはならないと強く思いました。そのためにも多くの人にとにかく観てもらいたい。そして関心を抱いてほしい。



この拉致問題、一部の拉致被害者の方の帰国から進展がないまま、もう9年になる。日本で起こった日本人の悲しい出来事を知って下さい。そして関心を持って下さい。自分自身、家族、周囲の人、世の中にもっともっと関心を持とう。そう思いました。



後世に語りついでいかなければ成らない史実の1つであるということや改めて認識させられたと共に、ただそれを語りついで終わるだけではなく完全な真相解明に向けて僕たちも考えを改め直さなければいけないと強く感じました。



正直、忘れていた拉致問題、こんなにも残酷な状況に驚きました。もう、34年も経っていた事にも驚きました。今の不安定な日本に、最も解決しなくてはならない、問題の一つとして再確認させられる作品だと思います。



あの5人が日本に帰ってきた2002年から9年。北朝鮮による拉致事件を昔起きて解決した事件と思うようになっていませんか?違います。拉致事件は解決していません。何故なら日本政府が認定した拉致被害者12人はいまだ北朝鮮に残されているのです。このDVDを観て、その事実を思い出して、決して忘れないでください。